

地域課題・目指す将来像

地域 課題

- 中心市街地に人を惹きつけ、**都市の価値向上を図る**ためには、中央通りの再編において、単なる空間整備にとどまらない新たな魅力づくりや、次世代モビリティ等のスマート技術の導入が求められる
- 近鉄四日市駅・JR四日市駅両駅間をはじめとする中心市街地において、**まちなかの回遊性を向上**させることが必要である

将来像

- 自動運転バス等の新技術を取り入れた交通手段を実現することで、まちなかへの来訪者や居住者の快適な移動を支援し、回遊性の向上を実現するとともに、**楽しく移動できる交通環境づくり**を構築する

推進体制

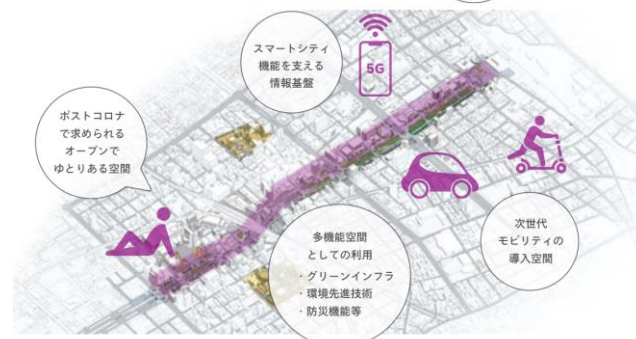
名称：四日市市未来技術地域実装協議会
(自動運転導入検討会議)

地方公共団体	四日市市 三重県、三重県警
国（★は現地支援責任者）	国土交通省（★中部地方整備局、中部運輸局、三重運輸支局）、内閣府（地方創生推進事務局）
民間事業者	三重交通(株)、三岐鉄道(株)自動車部、(一社)三重県タクシー協会、(一社)三重県トラック協会、四日市港運協会
大学等	四日市商工会議所、学校法人みえ大橋学園、名城大学、東京大学大学院情報学環、三重大学、四日市工業高等学校、インターネットITS協議会

課題解決に向けた取組

①自動運転バス実装事業【自動運転】

- **居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかの実現**を目指す**中央通り再編にあわせ**、中心市街地の回遊性向上を目的に、**近鉄四日市駅～JR四日市駅間**において、周辺の主要な公共施設（新図書館等）との連携も視野に、自動運転バスの実装を目指す
- 自動運転バスの走行や、走行に関連する技術検証に加え、自動運転等の新たな移動体験サービスを提供することで、中心市街地の魅力創出を図る



中央通りのデザイン



令和7年度
自動運転実証実験の様子